

特集：大学説明会

学生による大学説明 —アパート生活の紹介—

和田 怜子（筑波大学 生物学類 1年）

筑波大生の多くは1人暮らしをしており、その中でも1年生のほとんどが宿舎を利用していますが、アパートを借りて生活している学生もいます。私もそのうちの1人なのですが、なぜ宿舎を利用せずにアパートで生活することに決めたかという、2年生になったときに抽選にもれて宿舎を出なければならぬときに引っ越すのが面倒だったからというものぐさな理由からでした。ほかのアパート暮らしの1年生に話を聞くと、お風呂やトイレなどの共同利用が嫌だからといった理由や、宿舎のあまり良いとは言えない環境が自分の健康に害を及ぼす可能性があるからといった理由、プライバシーが確立されている空間が欲しいからといった理由でアパートを借りることにしたという人もいました。

実際に生活を始めてみると、なんといってもアパート暮らしの利点はお風呂です。宿舎のお風呂は時間が決められており、その時間を逃すと入れません。それに対しアパートで生活する人は自分の好きな時間にゆっくりとお風呂に入ったり、贅沢に朝風呂に入ったりすることができます。そのためお風呂に入り損ねた宿舎に住む人がお風呂を借りに来たりもします。またアパートは宿舎で与えられる部屋よりも広いので、夜中に集まって遊んだり、試験勉強を数人でしたりとちょっとした“たまり場”にもなったりします。けれどもアパートだからといって宿舎よりも絶対的に良いというわけではないということも実感しました。例えば掃除。お風呂やトイレが共同ではない分自分で掃除するので少し大変です。また宿舎ではほとんどの人のご近所は他学類であったとしても1年生でしょう。けれどもアパート暮らしでは隣が同じ学類の人とも限らないし、それが1年生とも限りません。実際私の部屋のご近所の方は違う学類の違う学年の方で、生活リズムが違う

からなかなか顔を合わすことはありません。もし病気や怪我をしてしまったとき、自分のアパートの場所を知っている人がいなければ大変な目にあうかもしれませんし、防犯面でも不安が残ります。

宿舎とアパートどちらにもメリット、デメリットがあります。どちらにするかは自分の中の優先順位から決めれば言いと思います。例えばお風呂の共同利用が絶対に嫌だというならアパート暮らしを、何よりも経済的な生活を！というなら宿舎生活をすればいいといったように。ただもしアパート暮らしをしようと思っている方がいらしたら、筑波大に合格したとわかった瞬間からアパート探しを始めるくらいの気持ちで部屋探しをしてください。というのも宿舎から出てアパート暮らしをしようとしている人たちはもっと早くから部屋探しをしているので、新1年生がとれるいい部屋というのは元より数が少ないです。なので、ぐずぐずしていると他の新1年生にとられてしまいます。

最後に、これだけは言わせて欲しいということがあります。それはアパート暮らしだからといって宿舎に住んでいる人から孤立することはないということです。確かに最初はそういうことを危惧していました。宿舎についての話についていけなくて疎外感を感じたりもするときもありますが、それは本当にごくまれです。アパートに住む人は自分の他にもクラスに何人かいますし、先ほど話したとおり宿舎の人が遊びに来たりもします。アパートに住もうかな、と思っている人は孤立とかの不安を持たずにアパート生活を満喫していただけたらと思います。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 17, 2007.